

平成23年9月

大塚美樹 学位論文審査要旨

主 査 紀 川 純 三
副主査 吉 岡 伸 一
同 萩 野 浩

主論文

Self-perceived burden in patients with cancer: Scale development and descriptive study

(がん患者の他者への負担感：尺度開発および記述的研究)

(著者：大塚美樹、最上多美子、萩野浩)

平成23年 European Journal of Oncology Nursing 掲載予定

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、がん患者の他者への負担感を測定する尺度の開発を試み、その信頼性・妥当性について検討するとともに、日本人がん患者の他者への負担感の特徴を明らかにしたものである。その結果、開発された尺度（SPBS日本語版）の信頼性・妥当性が確認され、がん患者の他者への負担感を反映する尺度としてその有用性および日本人がん患者の特徴が示された。本論文の内容は、臨床看護学の分野で、がん患者の他者への負担感の実態把握に寄与し、評価指標としての有用性を示すものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。